

# NEW LIGHT LINE 完全入稿データ作成時の注意事項 ※必ずご一読ください。

---

## <基本事項>

- Adobe Illustratorでデータを作成してください。
- 弊社ではお客様より完全入稿データとしてお送り頂いたデータの修正は行いませんのでデータ作成には十分にご注意ください。
- ロックは全て解除してください。
- 弊社でデザインの確認はいたしませんので、デザインに間違いはないか、スペルの間違いがないか十分にご確認ください。
- キャラクター、ロゴ、人物などの著作権、肖像権を有する部品、写真等を許可を得ず使用しないようご注意ください。  
必ずお客様で使用許可を得ているデータのみをご入稿ください。(弊社ではお客様、権利者への確認はいたしません)  
弊社では許可を得ず使用したことにより発生したトラブルの一切の責任を負いません。

## <色について>

- ドキュメントのカラーモードはCMYKモードでご入稿ください。
- プリントはCMYKインクで行います。特色でのプリントはできませんので使用しないでください。(DIC,PANTONE,TOYO INKなど)  
データ中に特色が使用されていた場合、プリンターで自動変換されます。  
自動変換により色がイメージと異なってしまう場合がございますが予めご了承ください。
- プリントは特殊なインクを使用した昇華プリント技術により行いますので紙媒体のCMYKと色・濃度が異なる場合がございます。  
54色をピックアップしたカラーチャートのご用意がございますのでご希望の方は資料請求ください。
- 弊社のプリンターの黒はK100のみで十分な濃度の黒を表現できますので、過度なリッチブラックを使用していないでください。  
リッチブラックはインク量過多によるプリントの滲みの原因となります。また、全色100%などの黒はプリンターで規制がかかり  
グレーに変換されてしまいますのでご注意ください。
- 画像の黒やCMYK値の合計が300以上の色、CMYKの混ざった濃い黒などはプリント時に薄いグレーに変換されてしまう場合がございます。  
インク過多によりプリント品質が悪くなるためプリンターの制御機能が働くためです。  
デザインに影響する場所で使用されていないかご確認ください。
- ジャージとレーシングパンツの生地は異なりますので同じデータの色でもプリントの色が異なる場合がございます。

## <画像について>

- RGB形式の画像データはプリンターで予期せぬ色に変換されてしまう場合がございますので使用しないようご注意ください。
- 画像データはデータ配置時に200ppi/inch以上で綺麗にプリントする事が可能です。  
解像度の不足はプリントが粗くなりますのでご注意ください。画像の色と、ベクトルデータの色を合わせることは  
データ上の数値で合っていてもプリント時に色が変わってしまう場合がございますので予めご了承ください。
- イラストの画像データはプリント濃度が少し薄くなる場合がございますので、濃度を少し上げていただくと綺麗にプリントされます。

## <文字について>

- 文字化けの原因となりますので文字は必ずアウトライン化してください。
- サイドパネルの文字などはライディングポジションを考慮されているかご確認ください。  
ライディングポジション時に横から見た時、文字などが逆さにならないようご注意ください。

#### <パターンデータについて>

- パターンデータはMサイズ原寸のものとなっております。サイズ、数量の調整は弊社でデータを作成いたしますので、パーツごとにグループ化をお願いいたします。グループ化されていない部分はデザインが変わってしまう場合がございますのでご注意ください。
- パターンからはみ出しがないようにデータを作成してください。はみ出しがないようにオブジェクトごとにクリッピングマスクをかけてください。(パターンデータ・合印は一緒にクリッピングマスクをせず、最後にオブジェクトごとにグループ化してください)
- 入稿用パターンデータのガイドが製品の仕上がり位置となります。ガイドから外側のグレーのラインまでは塗り足しとなります。縫製時に若干のズレが生じる場合がございますので、デザインは塗り足し部分まで作成ください。
- パーツの配置は変更しないでください。パーツが移動し重なっている箇所がないかご注意ください。
- サイズ変更、数量作成は弊社で行いますので、レイヤーが複数に分かれているとトラブルの原因となります。入稿時にレイヤーを1つにしてください。
- パターンデータのレイヤーは変更をせず、レイヤー順位も最上位に配置しデザイン制作することをおすすめいたします。レイヤーを1つにまとめる際にミスを防ぐことができます。デザイン作成時はパターンデータを複製して利用することをおすすめいたします。
- 縫製ミスの原因となりますので合印、ガイド線がデザインの下に隠れないようご注意ください。また合印の色がデザインと近く見えにくい場合は合印の色を変更してください。

#### <ガイド線について>

- デザイン作成時に便宜上ガイドを実線に変更するなどした場合はそのままになっていないかご確認ください。残っていると仕上がり位置に線がプリントされてしまいます。
- ガイドは削除、変更をせず、必ず元データのまま残してください。

#### <柄合わせについて>

- パーツのつなぎ目をまたぐデザインは縫製時にズレしてしまう場合がございます。とくに細い線や文字はつなぎ目をまたぐとつながりませんのでご注意ください。パターンデータを縮小プリントしガイド線でカットして模型を組み立てると柄のつながりが容易に確認できます。
- パーツのつなぎ目に沿ってラインを入れるデザインの場合、縫製によりラインの太さが変わってしまったり隠れてしまう場合がございます。予めご了承ください。つなぎ目にラインを入れる場合は出来る限り太めにデザインしてください。
- ジャージポケットの柄は背中と合わせて合っているか必ずご確認ください。

以上、各項目にご注意頂きデータを作成・ご入稿ください。上記各項目の注意事項を満たしていないデータにより発生した事故につきましては弊社では一切の責任を負うことができません。あらかじめご了承ください。